

岐大通 2013

today's guest : 愛媛 FC 2012 J2 12勝 14分 16敗 勝ち点 50:16位

1970年創設の『松山SC』が前身。天皇杯本大会出場は『愛媛FCユース』の方が先で、東京ガス(現・FC東京)が準決勝まで進出した199年の天皇杯では2回戦でその東京ガスを相手に延長戦にまでもつれこむ戦いをみせた。トップチームは200年の地域決勝で1次ラウンドで敗退も当時のJFL拡充策に参加することで全国リーグへ参戦。2005年にJFLで優勝しJ2参戦。最高位は2006年のJ2・9位。(吉田鑄造)

第3節・10/27ホーム栃木戦では、惜しくも敗れてしまったFC岐阜。つづく第3節・11/3アウェイ山形戦では、プレーオフを狙う上位チーム相手に不幸な2失点を許したものの、追いついて引き分けに持ち込んだ。やはり勝利が欲しいところではあったが、貴重な勝ち点1を積み上げることができた。順位は2位で変わらないが、22位・鳥取が負けたため、勝ち点差を4(つまり1試合では順位が逆転されない差)に広げることができた。またJFLでは上位2チームが長野と讃岐に確定し、現在2位の讃岐だけがJ2ライセンスを持っているため、J3降格の可能性は最下位のチームだけとなった。19位・富山が勝利したため、最下位の可能性はあるのは、群馬、岐阜、鳥取の3チームに絞られ、いよいよ残留争いも、そして2013年J2リーグ戦も佳境に入ってきた。

残りは3試合。今節11/10は群馬と鳥取が直接対決するため、岐阜としては何としても勝っておきたいところだ。ここで勝てば、22位・鳥取が勝っても勝ち点差4を維持できるし、逆に20位・群馬との勝ち点差を1に縮めることが出来る。また、もしも鳥取が負けて岐阜が勝てば、残り2試合で勝ち点差は7となり、最下位の可能性はなくなるから残留が確定する。ここで残留を決めてしまいたい、FC岐阜に関わる誰もが思っていることだろう。

さて、その今節の対戦相手は16位・愛媛FC。既に残留争いもプレーオフ争いも可能性がないチームだが、岐阜にとっては非常に相性が悪い。上位チームではないのに、愛媛との通算対戦成績は1勝8分4敗。ホームでも1勝4分2敗、アウェイでは0勝4分2敗と1度しか勝ったことがなく、イヤな相手だ。しかし、今後の対戦相手(次節4節は8位札幌とホーム最終戦、最終節はアウェイで19位・富山戦)を考えると、今日は『何としても勝たなければならぬ』試合だ。選手たちもそれは痛いほど十分に判っているだろう。彼らの奮起に期待したい。

相性の悪い愛媛だが、今節はボランチの一角である#4渡邊一仁が前節の退場処分出場停止になっているし、岐阜は長期離脱していた#5関田選手や#8李漢宰選手などが復帰しており、好材料もある。そして、10月は未勝利だったのだ。選手たちも、僕らサポも、勝利に飢えている。

昨年は第4節に町田との大一番で破れ、最終節まで残留確定がもつれ込んでしまった。あの時は選手たちも相当緊張していたようだが、今年は経験を積んで昨年とは違うことを見せてくれるだろう。なにより、ここはホーム・長良川だ。プレッシャーを感じている選手たちの気持ちを和らげて鼓舞し、背中を後押しして勝利を呼び込むためには、僕らサポーターの役割が重要だ。最後まで選手を信じて、勝利を信じて、大きな声援を送り続け、そして歓喜の万歳四唱と、J2残留を掴み取ろう。(ささたく)

2013J2 順位表 第3節 勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の 戦績(岐阜から視て)

1	G大阪	80p	+50	93	43	A	H
2	神戸	79p	+35	73	38	A	H
3	京都	70p	+26	66	40	H	A
4	千葉	64p	+21	65	44	H	A
5	長崎	63p	+8	46	38	H	A
6	徳島	60p	+2	52	50	H	A
7	松本	60p	+1	50	51	A	H
8	札幌	57p	+7	56	49	A	A
9	岡山	56p	+10	51	41	H	A
10	栃木	56p	+4	55	51	A	H
11	山形	55p	+13	69	56	H	A
12	東京V	54p	-5	51	56	A	H
13	福岡	51p	-9	42	51	A	H
14	横浜FC	49p	-2	43	45	H	A
15	水戸	49p	-7	46	53	A	H
16	愛媛	45p	-8	40	48	A	A
17	北九州	45p	-10	46	56	H	A
18	熊本	42p	-26	39	65	H	A
19	富山	41p	-14	41	55	H	A
20	群馬	37p	-18	39	57	H	A
21	岐阜	33p	-41	34	75	---	---
22	鳥取	29p	-35	34	69	A	H

次回 HomeGame

第4節 コンサドーレ札幌戦

【ホーム最終戦!】

11/17(日) 17:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

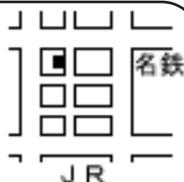


本庄工業株式会社

http://www.honj-woodream.com/

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休: 月曜(定休日が変わりました!)



岡田 歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel: 058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

【第38節】岐阜0-栃木

この試合でいちばんビックリしたのが、開始直後のスローインの場面。選手が要求しているのにアウトになったボールを拾ってきて渡していたこと。つまり、予備のボールが準備してなかったワケだ。メイン側は確認できなかったが、バクスタ側には一個もなく、両ゴール裏も担当の少年たちがダッシュで控室へ向かっていたので、たぶん準備がなかったんだろう。マルチ・ボールになってからずいぶん経つが、ピッチ外に出たボールを追いかける姿を久々に見た。でも、まじめな話だが、こんなことは二度とないようにしてもらいたい。

さて、肝心の試合の方だが、残念ながら力及ばず0-1の完封負け。水曜日の横浜戦の粘りと、ギリギリで得た勝ち点1を生かすことができなかった。本当に悔しい。確かに栃木はプレーオフを狙うチームとしての勢いはあったが、決して勝てない内容ではなかったように思う。少なくとも引き分けで終わった。返す返すもあのPKがもったいなかった。録画を見ても微妙な気がするけど、元はといえば、CKからの流れを切れなかったことが要因。少なくとも、今日の審判は妥当だった。

リードを許した後の終盤には、ケインを入れ新井も上げて、バージェを含め3つの橋頭堡を作ったの放り込み作戦を実行。辛島監督も打てるだけの手は打ったが実らず。欲を言えば、もっと躊躇なくロングボールを放り込めなかったかな？と。それから、今日のバージェはどうしたんだろう？と。クロスミートできなかった場面を始め何か、よくない意味で「カラダがカルい」ように見えた。コンディションがよくなかったのかな？

それでも、長崎戦に比べれば百倍は納得できる試合内容。以前に、もはや内容ではなく結果がほしいと書いた手前あまり掌返しのことを書くワケにはいかないが（苦笑）。それと、われらがバンディエラ・1番の動きには「目を見張る」と表現してもいいくらいだった。美尾とのワンツースで裏へ抜け出すばかりか、あまつさえ絶妙なクロスをいれたプレーとか、ドリブルで相手を抜くプレーとか。今すでに覚醒しているのか、それとも覚醒間近なのか。残り試合の活躍に期待したい。

ただ、心配なのが警告の累積。この日の警告で次節は新井が欠場確定。そして、野垣内を始めリーチがかかっているのが他に染矢、美尾、益山。中でも、染矢は次の警告を受けるのと2試合の出場停止。チームのトップスコアラーでアシスト数も一番の選手。どんな手を使ってでも警告は避けて！というのが本音だが、だからといって全力のプレーに激しい当たりは付き物だし。悩ましいところだが、とにかく最終戦まで、少なくとも残留が確定するまでの無事を祈るしかない。お願いします！（ぐん、）

【第39節】山形2-2岐阜

この試合を総括？すると、結局、アレだ。全部ウチの選手のゴールだね。木谷の1点目なんか、セオリーとはいえず、よくぞこの場面でそこにいてくれたと手を合わせて感謝して終わり、となるハズなんだが。そして、2点目も「なぜ、そこまで跳ね返る？」という感じで。スタジアムのリプレイでも見たけど、実に見事な放物線。「弧を描く」という形容をあれほど如実に現実化した場面を近年見ていない、と言ったら言い過ぎか？加入後ここまで堅実に守備を統率してくれた木谷だけど、横浜戦といい、この試合といい、何かヘンなモノに憑かれたような不運が続く。一度、時久に案内してもらって伊奈波神社でお祓いしてもらった方がいいかもしれん。ラグビーほどじゃないにせよ、ボールがどこへ転がるか？なんて、神のみぞ……の領域だもん。ま、冗談はともかく、試合のスタッツを見るまでもなく、決定機は山形の方が多かったのは間違いない。貴弘のビッグセーブに救われた場面は少なくとも3回はあったし、18本もシュート撃たれて2点で済んだのは幸運と思わなきゃ

いけないかもね。もちろん、それでも勝ち目はあった中で勝ち点1。これが有意義なモノになるかどうかは次節次第。群馬、鳥取と連勝した時には「シーズン最終盤での対戦相手はウチが一番有利かな？」などと、取らぬ狸の何とやらだったのだが、愛媛は大阪にも勝ったりしてなんか相手にするのがめんどくさいほど好調みたいだし、ホーム最終戦の相手・札幌はプレーオフ進出圏内にしぶとく食い下がってやがるし。遅くともホーム最終戦で残留を決めて、もちろん勝って決めてみんなと喜びたかったのに、難しい試合が続くよね。

これというも、千葉が大チョンボで札幌に勝ち点3を与えちゃったせいだ。ホンット、千葉って使えねえ。そんなに「2が好きなのか？（八つ当たり失礼）あ、でもまだ千葉は鳥取戦が控えてるのか。では、前言撤回。最終節は是非でも鳥取に勝って、プレーオフ第一戦をフクアリでやっちゃってください。応援してます！（ぐん、）

やっぱり山形は寒かった。でも、陽が当たると暖かったし、当初は雨の天気予報だったから、（雨がばらついた時間帯はあったけれど）覚悟してたよりはマシだったかな？ちょっと押され気味に試合が進んでいた時に、ゴール前での混戦から#1染矢がうまくボールを持って抜け出して先制（ちなみにピッチの向こう側だったので、僕は誰のどんなゴールだったのか分からなかった（苦笑））して、よしこれで前半が終わってくれば...と思っていたら、同点にされてしまった。#1貴弘が飛び出した後を狙われたけど、#35木谷がゴールに入ってたから、よしくリア...と思ったら、そのボールが相手に当たったのゴール。そして後半の2失点目も、CKで競り合ったボールが抜けて、またも木谷の膝に当たったのオウンゴール。守備の要に降りかかった不連続きに、これは今日の試合はヤバイかも...と思ったことを、僕は恥ずかしながら告白します。

でも、そんな状況からの同点ゴールときたら！CKを蹴った#10美尾の精度と、それにドンピシャのヘッドを合わせた#19益山も素晴らしかった。そして何より、最後にボールを押し込んだ後に両手を突き上げて雄叫びをあげ僕らサポーターの方を向いて煽る#36スティッペときたら（笑）。この直後に#5関田が痛んで？交替したのが、ある意味では「無理せず最低でもドロー」という、選手たちの意識をひとつにできた要因かもしれないと思った。最後には倍の18本もシュートを山形に撃たれながら（そしてピッチの向こう側で、胸がバクバクするような光景を何度も見せられながら）も、それ以上の失点を許さずに試合終了の笛を聞き、アウェイの地から、貴重な勝ち点1を持って帰ることができた。試合終了後に静まり返るスタジアムで、岐阜サポのコールが響き渡る...同じ勝ち点1でも、両者の受け止め方をはっきりと表していたと思う。

#20新井の累積欠場によってスタメンの出番が回ってきた#5関田の活躍も素晴らしかったし、#8李漢宰も復調してきたような気が。個人的には、#30中村祐輝が安定しているので、スティッペは本来のMFの位置で見たい...いやいや、残り3試合、贅沢を言っている場合じゃないよね（苦笑）。どんな形でも良い、どんなゴールでも良いから、勝ち点を積み上げて、そして残留をかちとろう！

（ささたく）
去年に引き続き今年もアウェー山形戦に行ってきました。試合は「岐阜が先制」「山形に追い付かれる」HT「山形に勝ち越される」「岐阜が追いつく」終戦と展開しましたが、自分的には不思議と負ける気はしなかった。それは劣勢の時にも岐阜の選手達が集中してプレー出来ていると感じられたからだと思います。だから勝点3を取れずに残念だった気持ちも当然あるけど、個人的には概ね満足な勝点1でした。

そして今日はホームで愛媛戦。試合前後には残り試合数やその対戦相手等の星勘定も必要だと思うけど、KOの笛がなったら選手たちには全力のプレーを見せて欲しい。そうすれば自ずと結果は得られるんじゃないかな？試合後に選手達の笑顔を見たいです。FORZA!FC岐阜!!

（ヤックル）